

次世代計測加工技術者養成事業

金属加工CAEを活用したモノづくり2023

～ 開催のご案内 ～

主 催： あいち産業科学技術総合センター産業技術センター、愛知工研協会

AI、IoT、シミュレーション、3Dモデリングなどのデジタル技術は産業に大きな変革をもたらしており、これらの技術の活用により、モノづくりの更なる効率化、高付加価値化が期待されています。中でもシミュレーション(CAE)技術は、コンピューター上で各種加工現象が模擬できることから、モノづくりの現場において、開発期間の短縮や品質向上、コスト低減を図るための重要なツールとして利用されています。

今回は主に鍛造分野を対象に、大学、企業、公設試研究者によるこれまでの研究成果や共同研究事例、CAEを活用した開発事例などについてご紹介いただきます。

参加費は無料です。多くのおみなさまの参加をお待ちしております。

【日 時】

2023年2月7日(火) 13時30分から16時30分まで(受付13時15分～)

【内 容】

13:30～15:00	「鍛造におけるCAE活用の落とし穴」 名古屋工業大学 教授 北村 憲彦 氏 (概要) CAEは鍛造品の欠陥や型破損の予想、さらに工程や型形状の最適化にも利用が進められ、トライの型費・回数を減らすことにも役立っています。今回は、それらの解析で陥りやすい「落とし穴」のような注意点について、基本的なことをご説明いたします。
15:00～15:10	休憩
15:10～16:00	「CAEを利用した新製品の開発期間短縮」 新郊パイプ工業(株) 執行役員 森 雄次郎 氏 (概要) 当社が製造する油圧配管は産業車両に使われており、油漏れ等に対する品質の確保とコスト低減が常に求められています。そこで、油漏れの原因である溶接をなくしつつ、コスト低減をすることができる『MKジョイント』を開発しました。CAEを用いて、この開発プロセスを短縮した事例をご紹介します。
16:00～16:30	「塑性加工を応用したアルミニウム合金の固相接合技術」 あいち産業科学技術総合センター産業技術センター 主任 永縄 勇人 (概要) 工業製品の軽量化が求められる中、軽量素材であるアルミニウムを効率的に接合する技術が求められています。本研究では、塑性加工を応用した新生面結合によりアルミ板同士の接合を行い、その接合因子及び接合条件を実験とCAE両面から考察しましたので紹介します。

【対象者】

鍛造、CAEに興味のある方であれば、どなたでも参加できます。

【定員】

オンライン：50名（申込先着順）

→「Microsoft Teams」によるライブ配信となります

【参加費】

無料

■申込方法

①Web ページからの申込み

<https://www.aichi-inst.jp/sangyou/other/seminar/> にアクセスいただき、
該当の「金属加工 CAE を活用したモノづくり 2023」の申込フォームに従って
御記入ください。



Web 申込み

②E-mail 又は FAX での申込み

E-mail：件名を「金属加工 CAE を活用したモノづくり 2023 参加希望」とし、下記の申込書の項目を
本文にご記入もしくは申込書をメールに添付の上、お送りください。

FAX：下記の申込書にご記入の上、お送りください。

※上記にて申込後、申込確認の連絡がない場合は、恐れ入りますが、下記「申込先及び問合せ先」まで
御連絡ください。なお、参加 URL は申込期限後に別途メールします。

■申込期限 2023年2月1日(水) 午後5時

■申込み及び問合せ先

あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター 金属材料室 津本、永縄、太田

電話：0566-45-5644 FAX：0566-22-8033 E-mail：2023kinzoku_cae@aichi-inst.jp

金属加工 CAE を活用したモノづくり 2023 参加申込書 年 月 日

あいち産業科学技術総合センター産業技術センター金属材料室 津本、永縄、太田 宛

FAX：0566-22-8033 E-mail：2023kinzoku_cae@aichi-inst.jp

企業名	
所在地	〒
所属・氏名	
連絡先	TEL： FAX：
	E-mail：
センターニュース配信 <input type="checkbox"/> 希望する	

☆ご記入いただいた情報を元に、当センター及び愛知工研協会のセミナー等のご案内をさせていただくことがあります。

☆あいち産業科学技術総合センターでは、各種イベントや技術情報をセンターニュース（メルマガ）として配信しています。